

書名	古墳時代の王権と集団関係			著者名	和田 晴吾／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-09350-7	本体価格	¥3,800	発売	11月上旬
内容	全国各地の古墳はいかなる契機で造られ、その規模・形が選択されたのか。その編年・時期区分を検証し、古墳の築造状況を全国的視野から捉え直す。前方後円墳を頂点とする古墳の秩序の形成とその変化を追究し、ヤマト王権と地域勢力の関係を論じる。首長連合体制から中央集権的体制への転換を明らかにし、古墳時代の国家と社会の実態に迫る注目作。						

書名	京都・奈良・大阪 修学旅行 パーフェクトガイド 最新版			著者名	あんぐる／著		
出版社	メイツ出版	ISBN	978-4-7804-2087-6	本体価格	¥1,750	発売	11月上旬
内容	2016年に発行された「京都・奈良・大阪 修学旅行 パーフェクトガイド」の情報を見直した最新版です。京都・奈良・大阪エリアの修学旅行におすすめのスポットを紹介します。						

書名	わかる日本書紀 第一巻			著者名	村田右富実／監修 村上ナツツ／文 つだゆみ／マンガ		
出版社	西日本出版社	ISBN	978-4-908443-32-9	本体価格	¥1,500	発売	11月上旬
内容	古事記と日本書紀を比較した本は多々ありますが、そこはおもいきりダイジェストですから恣意的、意図的にならざるをえません、この機会にマンガと文章で丁寧に遊訳した本書を！！						

書名	禁足地巡礼			著者名	吉田 悠軌／著		
出版社	扶桑社	ISBN	978-4-594-08083-9	本体価格	¥850	発売	2018/11/5
内容	禁足地とは、その名の通り「足を踏み入れてはいけない場所」のことであり奈良県大神神社の三輪山、沖縄の御嶽などが挙げられる。本書では、オカルト研究家であり、10年以上にわたり様々な禁足地を調べてきた著者が日本に未だに残る禁足地や時代の移り変わりとともに立ち入ることのできるようになった絶滅寸前の禁足地の由来や考察を民俗学的な観点も交えて解説していく。						

書名	日本古代の官司と政務			著者名	佐々木恵介／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-04652-7	本体価格	¥9,500	発売	2018/11/15
内容	古代日本における政務のありかたについて具体的に迫る論考集。任官申請・任官結果伝達の方法とその変遷、任官儀礼の意義を、奈良時代から平安時代までを見通して鋭く考察する。また、『小右記』を主とする古記録類の詳細な検討から、太政官や近衛府・検非違使庁等の政務運営の実態を復原。地方社会における政務に関する論考も収録する注目の一冊。						

書名	カラー版 日本画の歴史			著者名	草薙 奈津子／著		
出版社	中央公論新社	ISBN	978-4-12-102513-5	本体価格	¥920	発売	2018/11/21
内容	大和絵、狩野派、浮世絵など日本伝統の絵画は、開国後、西洋絵画と出会った。日本美術はフェノロサによって評価され「日本画」が成立、岡倉天心らの努力により発展した。近代篇では、幕末に盛んになった横浜浮世絵・南画から説き起こす。そして、富国強兵の空気の中、国家主導で堂々たる作品が数多く制作された国家形成期の明治、人文主義を背景にのびやかな画風が完成した大正を描く。主要な日本画を多数収録。						

書名	奈良 鹿ものがたり			著者名	中村文人／著		
出版社	佼成出版社	ISBN	978-4-333-02790-3	本体価格	¥1,300	発売	2018/11/28
内容	観光地でにぎわう奈良公園には、約1300頭の鹿が暮らしています。それはなぜか？平安時代までさかのぼる鹿の歴史、知られざる野生の生態など、奈良の鹿について理解が深まる本。						

書名	世界遺産【講談社の動く図鑑MOVE】			著者名	講談社(編) 西谷 大(監)		
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-513763-5	本体価格	¥2,000	発売	2018/11/29
内容	富士山、京都、奈良、日光、熊野古道、屋久島など、日本の世界遺産を候補地もふくめて完全網羅！ 外国の世界遺産もくわしく解説						